

平成29年3月期 第2四半期決算短信〔米国基準〕（連結）

平成28年10月27日

上場会社名 オムロン株式会社
 コード番号 6645
 代表者 役職名 代表取締役社長
 氏名 山田 義仁
 問合せ先責任者 役職名 執行役員 グローバル理財本部長
 氏名 大上 高 充

上場取引所 東証 市場第一部
 URL <http://www.omron.co.jp/>

TEL (075) 344-7070

四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有・無 (投資家向け)

配当支払開始予定日 平成28年12月2日

(百万円未満四捨五入)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	371,592	△10.1	25,891	△21.5	23,646	△27.8	15,849	△35.2
28年3月期第2四半期	413,460	2.2	32,986	△23.3	32,769	△27.2	24,474	△27.3

(注) 四半期包括利益 29年3月期第2四半期 △18,322百万円(- %) 28年3月期第2四半期 14,010百万円(△66.5%)

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	
	円	銭	円	銭
29年3月期第2四半期	74	13	74	13
28年3月期第2四半期	112	65	112	65

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率
	百万円	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	632,893	420,745	419,220	66.2
28年3月期	683,325	447,034	444,718	65.1

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末	期末	合計			
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭		
28年3月期	—	—	34	00	—	—	34	00	68	00
29年3月期	—	—	34	00	—	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—	34	00	68	00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有・無
 従来未定としておりました平成29年3月期の第2四半期末配当金を34円に決定いたしました。

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	765,000	△8.2	55,000	△11.7	55,000	△16.3	40,000	△15.4	187	08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有・無
 連結業績予想の修正については、本日（平成28年10月27日）公表いたしました「平成29年3月期通期連結業績予想の修正および減損損失等の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有・無
 新規 一社 （社名） 除外 一社 （社名）

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有・無

(3) 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 有・無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	213,958,172株	28年3月期	213,958,172株
29年3月期2Q	150,107株	28年3月期	149,398株
29年3月期2Q	213,808,481株	28年3月期2Q	217,252,012株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 業績予想などは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまなリスクや不確定な要素などの要因により、異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、P. 6「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。
- 当社は、米国会計基準に基づき連結損益計算書の表示形式としてシングルステップ方式（段階利益を表示しない方式）を採用していますが、他社との比較可能性を高めるため、当決算短信の「営業利益」は、「売上総利益」から「販売費及び一般管理費」、「試験研究開発費」を控除したものを表示しています。
- 当社は、平成28年10月27日（木）に投資家向け説明会を開催する予定です。その模様および説明内容（音声）については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

(注) 事業の種類別セグメントの名称を次のとおり略して記載しています。

- I A B : インダストリアルオートメーションビジネス（制御機器事業）
 E M C : エレクトロニック&メカニカルコンポーネントビジネス（電子部品事業）
 A E C : オートモティブ&エレクトロニックコンポーネントビジネス（車載事業）
 S S B : ソーシャルシステムズ・ソリューション&サービスビジネス（社会システム事業）
 H C B : ヘルスケアビジネス（ヘルスケア事業）
 その他 : 環境事業、電子機器事業、マイクロデバイス事業、バックライト事業など（本社直轄事業）

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 6
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 6
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用	P. 6
(3) 会計方針の変更	P. 6
3. 四半期連結財務諸表	P. 7
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括損益計算書	P. 9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 12
(継続企業の前提に関する注記)	P. 12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 12
(セグメント情報等)	P. 12
4. 補足情報	P. 14
(1) 連結業績概要	P. 14
(2) 連結セグメント別売上高実績	P. 15
(3) 連結セグメント別営業利益実績	P. 15
(4) 期中平均レート実績	P. 15
(5) 連結セグメント別売上高予想	P. 16
(6) 連結セグメント別営業利益予想	P. 16
(7) 期中平均レート予想	P. 16

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

○ 全般的概況

当第 2 四半期連結累計期間（平成 28 年 4 月～9 月）における当社グループの業績は、前年同期比で減収減益となりました。円高による為替のマイナス影響などにより、売上高・営業利益ともに前年同期比で減少しました。

当第 2 四半期連結累計期間の経済環境認識は以下のとおりです。

<各地域の経済・市場概況>

日本： 個人消費は総じて軟調に推移、設備投資は一部で回復
米州： 米国は雇用回復と堅調な個人消費による景気拡大が持続
欧州： 緩やかな景気回復は継続するも、英国のEU離脱交渉による先行きの不透明感は継続
中華圏： 設備投資の伸び率低下などにより、中国経済は緩やかな減速が継続
アジア： 韓国の景気は回復傾向にあるものの、タイ・インドネシア等は不透明感が継続

<当社グループの主な関連市場の状況>

自動車関連： 国内は軽自動車の販売減などにより需要は低調、欧米は堅調
半導体関連： 国内・海外の設備投資需要は堅調
工作機械関連： 国内・海外の設備投資需要は引き続き低調
家電・電子部品関連： 設備投資需要は堅調、部品需要は中国などで低調
健康医療機器関連： 国内個人消費は回復傾向、中国は景気減速により低調、その他新興国は堅調

当第 2 四半期連結累計期間の業績結果は以下のとおりです。

	平成 28 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間	平成 29 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間	増減率
売 上 高	4,134 億 60 百万円	3,715 億 92 百万円	△10.1%
営 業 利 益	329 億 86 百万円	258 億 91 百万円	△21.5%
税引前四半期純利益	327 億 69 百万円	236 億 46 百万円	△27.8%
当社株主に帰属する 四 半 期 純 利 益	244 億 74 百万円	158 億 49 百万円	△35.2%
米ドル平均レート	121.5 円	107.3 円	△14.2 円
ユーロ平均レート	134.2 円	120.1 円	△14.1 円

○ セグメント別の状況

I A B (制御機器事業)

		平成 28 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間	平成 29 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	国内	631 億 12 百万円	633 億 13 百万円	+0.3%
	海外	1,075 億 69 百万円	946 億 68 百万円	△12.0%
	合計	1,706 億 81 百万円	1,579 億 81 百万円	△7.4%
営業利益		269 億 50 百万円	230 億 5 百万円	△14.6%

<国内売上高の状況>

円高による顧客の設備投資の慎重な運営の影響を受けたものの、デジタルを中心とした注力業界等で販売が拡大し、当期間の国内売上高は前年同期比で横ばいとなりました。

<海外売上高の状況>

米州では自動車関連業界における投資需要は堅調だったものの、石油関連事業売却の影響により売上高は減少しました。欧州では前年度に買収した子会社グループの効果により売上高は増加しました。中華圏では経済成長の鈍化が継続する中、電子部品・インフラ・環境関連事業での投資需要が堅調に推移しました。アジアでは通貨安の影響が続く中、韓国の電子部品業界における投資活発化を背景に好調に推移しました。これらに円高による為替の大きなマイナス影響が加わった結果、当期間の海外売上高は前年同期比で大きく減少しました。

<営業利益の状況>

円高による為替のマイナス影響に加え、成長のための投資の拡大により、営業利益は前年同期比で大きく減少しました。

EMC (電子部品事業)

		平成 28 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間	平成 29 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	国内	128 億 24 百万円	118 億 95 百万円	△7.2%
	海外	415 億 3 百万円	353 億 56 百万円	△14.8%
	合計	543 億 27 百万円	472 億 51 百万円	△13.0%
営業利益		48 億 98 百万円	49 億 57 百万円	+1.2%

<国内売上高の状況>

アミューズメント業界の第 1 四半期における売上高の減少などにより、当期間の国内売上高は前年同期比で減少しました。

<海外売上高の状況>

米州では業務民生業界や自動車関連業界の顧客の在庫調整により需要が低調に推移しました。欧州では自動車関連業界の需要が堅調に推移しました。中華圏では経済成長の鈍化が続いていることから、業務民生業界の需要が減少しました。これらの結果に円高による為替のマイナス影響が加わり、当期間の海外売上高は前年同期比で大きく減少しました。

<営業利益の状況>

売上高の減少や円高による為替のマイナス影響はあるものの、前年度に実施した生産性向上の取り組み効果により、営業利益は前年同期比で横ばいとなりました。

A E C (車載事業)

		平成 28 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間	平成 29 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売 上 高	国内	101 億 53 百万円	85 億 98 百万円	△15.3%
	海外	583 億 77 百万円	547 億 56 百万円	△6.2%
	合計	685 億 30 百万円	633 億 54 百万円	△7.6%
営 業 利 益		31 億 33 百万円	24 億 94 百万円	△20.4%

<国内売上の状況>

軽自動車販売台数の減少などの影響により、当期間の国内売上高は前年同期比で大きく減少しました。

<海外売上の状況>

米州では堅調な米国経済を背景に需要が拡大しました。中華圏では政府の減税施策を背景とする好調な自動車販売を受けて需要が堅調に推移しました。しかしながら、円高による為替の大きなマイナス影響を受け、当期間の海外売上高は前年同期比で減少しました。

<営業利益の状況>

円高による為替のマイナス影響もあり、営業利益は前年同期比で大きく減少しました。

S S B (社会システム事業)

		平成 28 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間	平成 29 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売 上 高		287 億 31 百万円	214 億 78 百万円	△25.2%
営 業 利 益 (△ 損 失)		△19 億 51 百万円	△30 億 52 百万円	—

<駅務システム事業の売上高の状況>

駅務機器に対する設備投資の更新需要の一巡に伴い、当期間の売上高は前年同期比で大きく減少しました。

<交通管制・道路管理システム事業の売上高の状況>

交通関連の端末更新需要が堅調に推移した一方で、高速道路の投資需要が低調に推移しました。これらの結果、当期間の売上高は前年同期比で減少しました。

<環境ソリューション事業の売上高の状況>

太陽光発電関連市場の需要が低調に推移し、当期間の売上高は前年同期比で大きく減少しました。

<営業利益の状況>

売上高の減少を受けて、営業利益は前年同期比で大きく減少しました。

HCB（ヘルスケア事業）

		平成 28 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間	平成 29 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	国内	144 億 65 百万円	141 億 41 百万円	△2.2%
	海外	377 億 12 百万円	346 億 92 百万円	△8.0%
	合計	521 億 77 百万円	488 億 33 百万円	△6.4%
営業利益		39 億 25 百万円	47 億 30 百万円	+20.5%

<国内売上高の状況>

家庭向け健康医療機器については、オンライン市場の拡大により好調だったものの、郊外を中心とした大型家電量販店での需要が低調に推移しました。医療機関向け機器については、需要が前年度並みで推移しました。これらの結果、当期間の国内売上高は前年同期比で減少しました。

<海外売上高の状況>

米州では、北米・ブラジルで血压計販売が好調に推移しました。欧州では、ロシアでの血压計新商品の販売に加え、その他の国での取扱店拡大による販売が好調でした。中華圏では、景気減速の影響を受け、薬局などでの店頭販売が低調に推移した一方で、オンライン市場は引き続き拡大しました。アジアでは、日本製の血压計などの健康医療機器販売が好調に推移しました。しかしながら、円高による為替の大きなマイナス影響を受け、当期間の海外売上高は前年同期比で減少しました。

<営業利益の状況>

円高による為替のマイナス影響はあるものの、生産性の向上や固定費の効率的運用により、営業利益は前年同期比で大きく増加しました。

その他事業（本社直轄事業）

		平成 28 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間	平成 29 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高		368 億 1 百万円	302 億 10 百万円	△17.9%
営業利益（△損失）		△1 億 24 百万円	△23 億 4 百万円	—

その他事業では、新規事業の探索・育成と、社内カンパニーに属さない事業の育成・強化を本社直轄で行っています。

<環境事業の売上高の状況>

太陽光発電関連市場の需要は引き続き低調だったものの、蓄電関連の商品拡充が寄与し、当期間の売上高は前年同期比で横ばいとなりました。

<電子機器事業の売上高の状況>

無停電電源装置および電子機器の開発・生産受託サービスの需要が好調に推移し、当期間の売上高は前年同期比で増加しました。

<マイクロデバイス事業の売上高の状況>

スマートフォン向けマイクロフォンの需要の減少により、当期間の売上高は前年同期比で減少しました。

<バックライト事業の売上高の状況>

中華圏のスマートフォン市場における商品価格低下などの影響により、当期間の売上高は前年同期比で大きく減少しました。

<営業利益の状況>

売上高の減少などにより、営業利益は前年同期比で大きく減少し、損失を計上しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第 2 四半期連結会計期間末の資産の部は、受取手形及び売掛金の減少や機械その他の減少などにより、前連結会計年度末に比べ504億32百万円減少して、6,328億93百万円となりました。また、負債の部は、退職給付引当金や支払手形及び買掛金・未払金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ241億43百万円減少して、2,121億48百万円となりました。純資産の部は為替換算調整額の変動などにより、前連結会計年度末に比べ262億89百万円減少して、4,207億45百万円となりました。株主資本比率は前連結会計年度末の65.1%から66.2%となりました。

当第 2 四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況については、営業活動によるキャッシュ・フローの状況は、売上債権の回収などにより、273 億 49 百万円の収入（前年同期比 80 億 97 百万円の収入減）となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、資金的支出や事業売却などにより、45 億 49 百万円の支出（前年同期比 225 億 41 百万円の支出減）となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払いなどにより、80 億 75 百万円の支出（前年同期比 11 億 18 百万円の支出減）となりました。以上より、現金及び現金同等物の当第 2 四半期連結会計期間末残高は前連結会計年度末に比べ 60 億 34 百万円増加し、889 億 44 百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第 3 四半期以降の前提為替レートを 1 米ドル 100 円、1 ユーロ 110 円に変更し、通期業績予想を以下のとおり修正いたします。

業績予想は当社が現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により異なる可能性があります。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	税引前 当期純利益	当社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当社株主に帰属 する当期純利益
前回発表予想 (A)	820,000	63,000	64,500	47,500	222 円 16 銭
今回修正予想 (B)	765,000	55,000	55,000	40,000	187 円 08 銭
増減額 (B-A)	△55,000	△8,000	△9,500	△7,500	—
増減率 (%)	△6.7%	△12.7%	△14.7%	△15.8%	—
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	833,604	62,287	65,686	47,290	218 円 95 銭

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

期 別 科 目	前連結会計年度 (平成28年3月31日)		当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
		%		%
(資 産 の 部)				
流 動 資 産	389,609	57.1	378,428	59.8
現金及び現金同等物	82,910		88,944	
受取手形及び売掛金	165,093		145,058	
貸倒引当金	△ 1,654		△ 1,445	
たな卸資産	107,267		108,091	
繰延税金	18,469		18,365	
売却予定資産	—		3,946	
その他の流動資産	17,524		15,469	
有形固定資産	146,565	21.4	121,686	19.2
土地	26,376		25,267	
建物及び構築物	146,412		137,102	
機械その他	204,499		176,334	
建設仮勘定	6,142		5,781	
減価償却累計額	△ 236,864		△ 222,798	
投資その他の資産	147,151	21.5	132,779	21.0
のれん	30,253		27,175	
関連会社に対する 投資及び貸付金	25,048		24,198	
投資有価証券	37,055		27,916	
施設借用保証金	6,758		6,498	
繰延税金	22,080		23,769	
その他の資産	25,957		23,223	
資産合計	683,325	100.0	632,893	100.0

(単位：百万円)

期 別 科 目	前連結会計年度 (平成28年3月31日)		当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
		%		%
(負債の部)				
流 動 負 債	162,663	23.8	148,687	23.5
支払手形及び買掛金・未払金	82,606		74,783	
未 払 費 用	37,975		35,121	
未 払 税 金	6,890		2,434	
売却予定負債	—		1,823	
その他の流動負債	35,192		34,526	
繰 延 税 金	660	0.1	575	0.1
退職給付引当金	62,289	9.1	52,895	8.4
その他の固定負債	10,679	1.6	9,991	1.5
負債の部合計	236,291	34.6	212,148	33.5
(純資産の部)				
株 主 資 本	444,718	65.1	419,220	66.2
資 本 金	64,100	9.4	64,100	10.1
資本剰余金	99,101	14.5	99,137	15.7
利益準備金	15,194	2.2	17,269	2.7
その他の剰余金	317,171	46.4	323,676	51.1
その他の包括利益(△損失)累計額	△ 50,204	△ 7.3	△ 84,316	△ 13.3
為替換算調整額	2,541		△ 28,668	
退職年金債務調整額	△ 64,525		△ 63,087	
売却可能有価証券未実現損益	11,884		7,229	
デリバティブ純損益	△ 104		210	
自己株式	△ 644	△ 0.1	△ 646	△ 0.1
非支配持分	2,316	0.3	1,525	0.3
純資産の部合計	447,034	65.4	420,745	66.5
負債及び純資産合計	683,325	100.0	632,893	100.0

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括損益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期連結累計期間 〔自平成27年4月1日〕 〔至平成27年9月30日〕		当第2四半期連結累計期間 〔自平成28年4月1日〕 〔至平成28年9月30日〕	
	金 額	百分比	金 額	百分比
高 上 売	413,460	100.0	371,592	100.0
低 上 原 価	252,354	61.0	226,777	61.0
高 上 総 利 益	161,106	39.0	144,815	39.0
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	102,444	24.8	93,835	25.2
試 験 研 究 開 発 費	25,676	6.2	25,089	6.8
営 業 利 益	32,986	8.0	25,891	7.0
そ の 他 費 用 - 純 額 -	217	0.1	2,245	0.6
税 引 前 四 半 期 純 利 益	32,769	7.9	23,646	6.4
法 人 税 等	9,339	2.3	7,094	2.0
持 分 法 投 資 損 益 (△ 利 益)	△ 1,287	△ 0.4	496	0.1
四 半 期 純 利 益	24,717	6.0	16,056	4.3
非 支 配 持 分 帰 属 損 益	243	0.1	207	0.0
当 社 株 主 に 帰 属 す る 四 半 期 純 利 益	24,474	5.9	15,849	4.3

(四半期連結包括損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

科 目	期 別	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
		金 額	金 額
四 半 期 純 利 益		24,717	16,056
その他の包括利益－税効果考慮後			
為 替 換 算 調 整 額		△ 6,870	△ 31,475
退 職 年 金 債 務 調 整 額		442	1,438
売却可能有価証券未実現損益		△ 4,268	△ 4,655
デリバティブ純損益		△ 11	314
その他の包括利益(△損失)計		△ 10,707	△ 34,378
四半期包括利益(△損失)		14,010	△ 18,322
(内訳)			
非支配持分に帰属する四半期包括利益(△損失)		206	△ 59
当社株主に帰属する四半期包括利益(△損失)		13,804	△ 18,263

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別		前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間	
			〔自平成27年4月1日〕 〔至平成27年9月30日〕		〔自平成28年4月1日〕 〔至平成28年9月30日〕	
I 営業活動によるキャッシュ・フロー						
1. 四 半 期 純 利 益				24,717		16,056
2. 営業活動によるキャッシュ・フローと 四半期純利益の調整						
(1) 減 価 償 却 費		15,234			14,535	
(2) 固定資産除売却損(△益)(純額)	△	1			167	
(3) 長期性資産及び売却予定資産の減損		—			11,860	
(4) 投資有価証券売却益(純額)	△	441			△ 88	
(5) 事業売却益		—			△ 3,530	
(6) 投資有価証券の減損		5			310	
(7) 退職給付信託設定益		—			△ 6,161	
(8) 退職給付引当金		632			1,814	
(9) 繰延税		1,156			△ 1,018	
(10) 持分法投資損益(△利益)	△	1,287			496	
(11) 資産・負債の増減						
① 受取手形及び売掛金の減少		18,074			7,926	
② たな卸資産の増加	△	8,443			△ 11,697	
③ その他の資産の減少(△増加)	△	13			758	
④ 支払手形及び買掛金・未払金の減少	△	7,831			△ 2,582	
⑤ 未払税金の減少	△	1,288			△ 3,487	
⑥ 未払費用及びその他流動負債の増加(△減少)	△	6,522			1,409	
(12) その他の他(純額)		1,454		10,729	581	11,293
営業活動によるキャッシュ・フロー				35,446		27,349
II 投資活動によるキャッシュ・フロー						
1. 投資有価証券の売却及び償還による収入				654		191
2. 投資有価証券の取得		△ 16			△ 274	
3. 資本的支出		△ 18,849			△ 10,861	
4. 施設借用保証金の減少(純額)		152			158	
5. 有形固定資産の売却による収入		393			784	
6. 関連会社に対する投資及び貸付金の減少(△増加)		△ 20			30	
7. 事業売却(現金流出額との純額)		—			5,381	
8. 事業買収(現金取得額との純額)		△ 9,390			—	
9. その他の他(純額)		△ 14			42	
投資活動によるキャッシュ・フロー				△ 27,090		△ 4,549
III 財務活動によるキャッシュ・フロー						
1. 短期債務の増加(純額)		—			112	
2. 親会社の支払配当金		△ 8,690			△ 7,269	
3. 非支配株主への支払配当金		△ 216			△ 262	
4. 自己株式の取得		△ 14			△ 3	
5. 非支配株主との資本取引による支出額		—			△ 470	
6. その他の他(純額)		△ 273			△ 183	
財務活動によるキャッシュ・フロー				△ 9,193		△ 8,075
IV 換算レート変動の影響				△ 2,180		△ 8,691
現金及び現金同等物の増減額				△ 3,017		6,034
期首現金及び現金同等物残高				102,622		82,910
四半期末現金及び現金同等物残高				99,605		88,944
営業活動によるキャッシュ・フローの追記						
1. 支払利息の支払額				74		71
2. 法人税等の支払額				9,423		12,568
キャッシュ・フローを伴わない投資及び財務活動の追記						
1. 資本的支出に関連する債務				925		513
2. 退職給付信託へ抛出した投資有価証券の公正価額				—		8,487

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

(単位: 百万円)

	I A B	EMC	A E C	S S B	H C B	その他	計	消去調整他	連結
売上高									
(1) 外部顧客に対する売上高	170,681	54,327	68,530	28,731	52,177	36,801	411,247	2,213	413,460
(2) セグメント間の内部売上高	2,795	24,534	273	2,119	133	8,573	38,427	△ 38,427	—
計	173,476	78,861	68,803	30,850	52,310	45,374	449,674	△ 36,214	413,460
営業費用	146,526	73,963	65,670	32,801	48,385	45,498	412,843	△ 32,369	380,474
営業利益 (△ 損失)	26,950	4,898	3,133	△ 1,951	3,925	△ 124	36,831	△ 3,845	32,986

当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

(単位: 百万円)

	I A B	EMC	A E C	S S B	H C B	その他	計	消去調整他	連結
売上高									
(1) 外部顧客に対する売上高	157,981	47,251	63,354	21,478	48,833	30,210	369,107	2,485	371,592
(2) セグメント間の内部売上高	2,546	22,801	233	2,009	164	6,603	34,356	△ 34,356	—
計	160,527	70,052	63,587	23,487	48,997	36,813	403,463	△ 31,871	371,592
営業費用	137,522	65,095	61,093	26,539	44,267	39,117	373,633	△ 27,932	345,701
営業利益 (△ 損失)	23,005	4,957	2,494	△ 3,052	4,730	△ 2,304	29,830	△ 3,939	25,891

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

(単位: 百万円)

	日本	米州	欧州	中華圏	東南アジア 他	計	消去又は 全社	連結
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	160,559	67,718	52,127	88,258	44,798	413,460	—	413,460
(2) セグメント間の内部売上高	92,997	3,056	871	51,069	14,195	162,188	△ 162,188	—
計	253,556	70,774	52,998	139,327	58,993	575,648	△ 162,188	413,460
営業費用	237,451	69,658	49,965	130,076	54,384	541,534	△ 161,060	380,474
営業利益 (△ 損失)	16,105	1,116	3,033	9,251	4,609	34,114	△ 1,128	32,986

当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

(単位: 百万円)

	日本	米州	欧州	中華圏	東南アジア 他	計	消去又は 全社	連結
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	152,595	55,460	49,631	71,444	42,462	371,592	—	371,592
(2) セグメント間の内部売上高	82,060	2,891	842	46,529	12,714	145,036	△ 145,036	—
計	234,655	58,351	50,473	117,973	55,176	516,628	△ 145,036	371,592
営業費用	224,868	57,373	48,470	107,996	51,017	489,724	△ 144,023	345,701
営業利益 (△ 損失)	9,787	978	2,003	9,977	4,159	26,904	△ 1,013	25,891

(注) 日本以外の区分に属する主な国または地域

- (1) 米州……………米国・カナダ・ブラジル
- (2) 欧州……………オランダ・英国・ドイツ・フランス・イタリア・スペイン
- (3) 中華圏……………中国・香港・台湾
- (4) 東南アジア他……シンガポール・韓国・インド・豪州

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

(単位:百万円)

	米州	欧州	中華圏	東南アジア他	計
I 海外売上高	68,980	54,523	88,794	46,981	259,278
II 連結売上高					413,460
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	16.7	13.2	21.5	11.3	62.7

当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

(単位:百万円)

	米州	欧州	中華圏	東南アジア他	計
I 海外売上高	56,764	52,159	71,749	42,676	223,348
II 連結売上高					371,592
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	15.3	14.0	19.3	11.5	60.1

(注) 各区分に属する主な国または地域

- (1) 米州……………米国・カナダ・ブラジル
- (2) 欧州……………オランダ・英国・ドイツ・フランス・イタリア・スペイン
- (3) 中華圏……………中国・香港・台湾
- (4) 東南アジア他……………シンガポール・韓国・インド・豪州

4. 補足情報

(1) 連結業績概要

		第2四半期累計			通期		
		平成28年3月期 第2四半期	平成29年3月期 第2四半期	前年同期比	平成28年3月期	平成29年3月期 予想	前期比
売上高	百万円	413,460	371,592	89.9%	833,604	765,000	91.8%
営業利益 (率)	百万円 (%)	32,986 (8.0%)	25,891 (7.0%)	78.5% (△1.0P)	62,287 (7.5%)	55,000 (7.2%)	88.3% (△0.3P)
税引前四半期(当期)純利益 (率)	百万円 (%)	32,769 (7.9%)	23,646 (6.4%)	72.2% (△1.5P)	65,686 (7.9%)	55,000 (7.2%)	83.7% (△0.7P)
当社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	百万円	24,474	15,849	64.8%	47,290	40,000	84.6%
1株当たり当社株主に 帰属する四半期(当期)純利益	円 銭	112円65銭	74円13銭	△38円52銭	218円95銭	187円08銭	△31円87銭
潜在株式調整後 1株当たり当社株主に 帰属する四半期(当期)純利益	円 銭	112円65銭	74円13銭	△38円52銭	218円95銭		
総資産	百万円	698,784	632,893	90.6%	683,325		
株主資本 (株主資本比率)	百万円 (%)	496,204 (71.0%)	419,220 (66.2%)	84.5% (△4.8P)	444,718 (65.1%)		
1株当たり株主資本	円 銭	2,284円02銭	1,960円73銭	△323円29銭	2,079円98銭		
営業活動による キャッシュ・フロー	百万円	35,446	27,349	△8,097	84,207		
投資活動による キャッシュ・フロー	百万円	△27,090	△4,549	+22,541	△67,116		
財務活動による キャッシュ・フロー	百万円	△9,193	△8,075	+1,118	△31,550		
現金及び現金同等物 四半期末(期末)残高	百万円	99,605	88,944	△10,661	82,910		

(注) 連結子会社数は167社、持分法適用関連会社数は16社です。

(2) 連結セグメント別売上高実績

(単位：億円)

		平成28年3月期 第2四半期累計	平成29年3月期 第2四半期累計	前年同期比
I A B	国 内	631	633	100.3%
	海 外	1,076	947	88.0%
	計	1,707	1,580	92.6%
E M C	国 内	128	119	92.8%
	海 外	415	354	85.2%
	計	543	473	87.0%
A E C	国 内	101	86	84.7%
	海 外	584	548	93.8%
	計	685	634	92.4%
S S B	国 内	277	214	76.8%
	海 外	10	1	18.1%
	計	287	215	74.8%
H C B	国 内	145	141	97.8%
	海 外	377	347	92.0%
	計	522	488	93.6%
その他	国 内	237	266	112.6%
	海 外	131	36	28.0%
	計	368	302	82.1%
消去調整他	国 内	23	24	104.9%
	海 外	0	0	—
	計	23	24	112.3%
合 計	国 内	1,542	1,483	96.1%
	海 外	2,593	2,233	86.1%
	(海外比率)	(62.7%)	(60.1%)	(△2.6P)
	計	4,135	3,716	89.9%

(3) 連結セグメント別営業利益実績

(単位：億円)

	平成28年3月期 第2四半期累計	平成29年3月期 第2四半期累計	前年同期比
I A B	270	230	85.4%
E M C	49	50	101.2%
A E C	31	25	79.6%
S S B	△ 20	△ 31	—
H C B	39	47	120.5%
その他	△ 1	△ 23	—
消去調整他	△ 38	△ 39	—
合計	330	259	78.5%

(4) 期中平均レート実績

(1外貨当たり 円)

	平成28年3月期 第2四半期累計	平成29年3月期 第2四半期累計	前年同期比
U S D	121.5	107.3	△14.2
E U R	134.2	120.1	△14.1

(5) 連結セグメント別売上高予想

(単位：億円)

	平成28年3月期	平成29年3月期 予想	前期比
I A B	3,360	3,120	92.9%
E M C	1,037	930	89.7%
A E C	1,400	1,230	87.9%
S S B	775	700	90.3%
H C B	1,081	1,000	92.5%
その他	630	620	98.4%
消去調整他	53	50	94.1%
合計	8,336	7,650	91.8%

(6) 連結セグメント別営業利益予想

(単位：億円)

	平成28年3月期	平成29年3月期 予想	前期比
I A B	479	430	89.7%
E M C	85	85	100.1%
A E C	73	55	74.9%
S S B	32	40	125.1%
H C B	73	80	109.8%
その他	△ 41	△ 25	—
消去調整他	△ 78	△ 115	—
合計	623	550	88.3%

(7) 期中平均レート予想

(1外貨当たり 円)

	平成28年3月期	平成29年3月期 予想	前期比
U S D	120.2	103.7	△16.5
E U R	132.2	115.0	△17.2

(注) 平成29年3月期の予想における 第3四半期以降の業績予想の前提としている為替レートは 1米ドル100円、1ユーロ110円です。